

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 わかば園		
○保護者評価実施期間	令和7年 10月 18日		～ 令和7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 10月 18日		～ 令和7年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・手厚い支援体制をとっている。	・その日のリーダーを中心に、一人の子どもに担当が一人つく体制をとり、療育を進めている。療育の前にはミーティングを行い、療育内容や子ども一人一人の様子を確認しあっている。また、療育後は振り返りを行っている。	・今後も子ども一人に担当がつく手厚い体制を整えていく。 ・療育前のミーティング、療育後の振り返りを大切にし、職員間で共有していく。
2	・親子通園の為、日々の活動の様子を見ていただくことができる。	・毎回、療育後に、子どもを担当した職員が保護者に活動の様子や課題・関わり方等のお返しをしている。	・今後も子どもの姿を通して、保護者と話ができる関係性を大切にしていく。 ・子どもの事だけでなく、保護者の様子にも目を向け、支援を行っていく。
3	・長年働いている職員体制により、子ども達の特性や性格を理解して対応することができる。	・職員間でコミュニケーションを図り、その都度、子どもの様子や支援方法等について、話し合っている。	・今後も些細な事でも職員間で伝えあい、情報を共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・就労している保護者の増加により、園児数が減少している。また、入所に繋がっても、親子通園という事で、利用日数が月に2～3回等少なく、送迎有りの事業所に併行して通う園児が見られる。	・療育の必要性や繰り返し継続することが力となる事等伝わっていない。 ・事業所のPR・親子通園の良さのPRが足りない。	・親子通園の良さを実感できるよう保護者支援に努めている。
2	・情報発信	・ホームページやInstagramにて年に数回発信したが、保護者への周知がされていない。	・Instagramにアップする回数や内容を検討していく。また、アップした際は保護者にお知らせしていく。 ・7年度も地域の子育て中の方を対象に「子育て広場」を月1回開催し、そこから療育の場として紹介していただくことがあったので来年度もわかば園を知っていただく為に、気軽に遊びにいける、相談できる場所として提供していきたい。
3			